

siroca

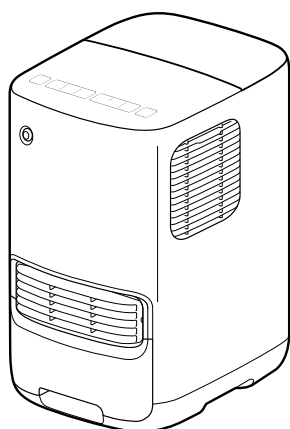
加湿機能付き セラミックファンヒーター

SH-3D151

取扱説明書 **保証書つき**

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。



会員登録・機器登録でもっと楽しく便利に

シロカクラブ

新規会員募集中 登録料・年会費無料

うれしい会員特典

- 部品・消耗品が最大20%OFF*
シロカオンラインストア本店で使える
- ポイント 500円分プレゼント
- 製品のお役立ち情報、新製品情報などお届け

*割引率は部品・消耗品によって異なります。一部対象外の製品もございます。



登録はこちら
所要時間:約2分

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
お使いになる前の準備	7
使いかた	9
お手入れ/保管のしかた	14
故障かなと思ったら	16
仕様	18
部品・消耗品	18
保証とアフターサービス	19
保証書	20

この製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

日本国内専用

USE ONLY IN JAPAN

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
ペットしかいない状況で使わない
やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。
子どもが本体で遊ぶことがないように注意してください。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体や操作部に水、お茶などをかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



禁止

スプレーなどの缶や薬品、油、紙類などを本体の近くに置かない
爆発や火災の原因になります。



禁止

本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない
転倒して、けがや故障の原因になります。



子どもが本製品で遊ぶことがないように注意する



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



覆ってはならない

過熱を防ぐため衣類・タオル・ふとん・カバーなどで製品本体を覆わない
火災・故障の原因になります。製品本体のみで、乾燥などの暖房以外の用途には使用しないでください。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

就寝中は温風運転しない

寝具などが触れると火災の原因になります。

 **警告**

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



コンセントを単独で使う

コンセントが2口、3口であっても、他の製品と併用せず、単独で使用してください。発熱による火災の原因になります。



禁止

延長コードやテーブルタップは絶対に使わない

コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。



使用中は、電源コードが本体に触れないようにする

熱で電源コードが傷み、ショート・感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、機器に挟み込む、束ねる など

電源コードを破損したときは、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに修理を依頼してください。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードに重いものをのせたり、機器に挟んだりしない

電源コードが傷つき、ショート・感電の原因になります。



禁止

運転中に電源プラグを抜き差ししない

火災・感電の原因になります。

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



水ぬれ禁止

屋外や風呂、シャワー室、および水泳プールの周辺部など、水のかかるおそれのある場所や湿気の多い場所では使わない

ショート・感電の原因になります。



禁止

カーテン・ふとんなどの可燃物の近くで使わない

火災の原因になります。



禁止

仰向け、横倒し、逆さまにしない

変形・故障・発火の原因になります。

安全上のご注意

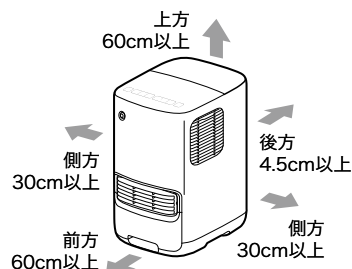
警告

設置に関する注意事項



家具などの近くで使わない、壁に押しつけない

熱で家具などを傷め、変色・変形の原因になります。壁や家具などから前方60cm以上、後方4.5cm以上、上方60cm以上、側方30cm以上離して設置してください。



注意

使用上の注意事項



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に触れない

高温のため、やけどの原因になります。



プラグを抜く

外出するときや長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

乾燥など他の用途に使用しない

過熱・火災の原因になります。



禁止

吸気口や送風口をふさがない

過熱・火災の原因になります。



使いはじめは充分換気をする

初めて使うとき、煙や塗料のにおいなどがある場合がありますが、異常ではありません。においは使用に伴いなくなりますが、においがした場合は充分換気をして使用してください。



禁止

落としたり、強い衝撃を加えない

故障の原因になります。



犬や猫などのペットのいる部屋で使うときは、ガードなどで本体・電源コードを必ず保護し、使用中はペットから目を離さない

ペットが本体・電源コードを傷つけると、ショート・感電・火災の原因になります。ペットが本体に触れると、やけどの原因になります。



禁止

長時間皮膚の同じ箇所をあためない

低温でも長時間皮膚の同じ箇所を暖めていると、低温やけどの原因になります。



移動時は水タンクと加湿トレーを取り外し、底面をしっかりと持ち、水平に運び傾けたり、ゆらしたりしない

落下するとけがの原因、水がこぼれて床をぬらす原因になります。



排水やお手入れ、移動は本体が冷めてから行う

高温部に触れると、やけどの原因になります。使用後は、本体が冷めるまで約30分かかります。

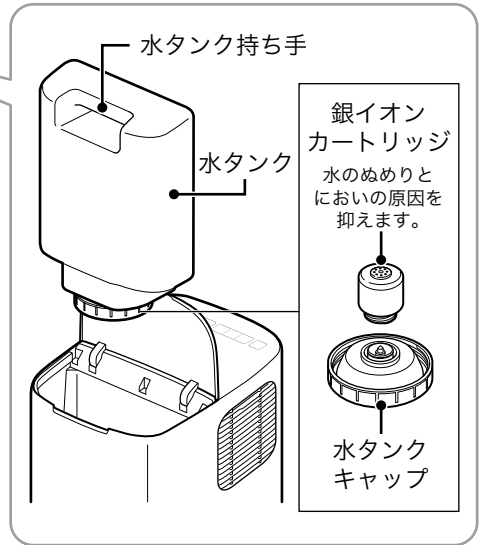
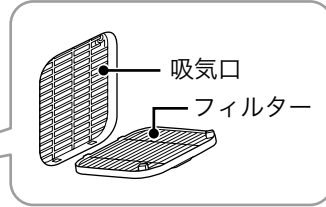
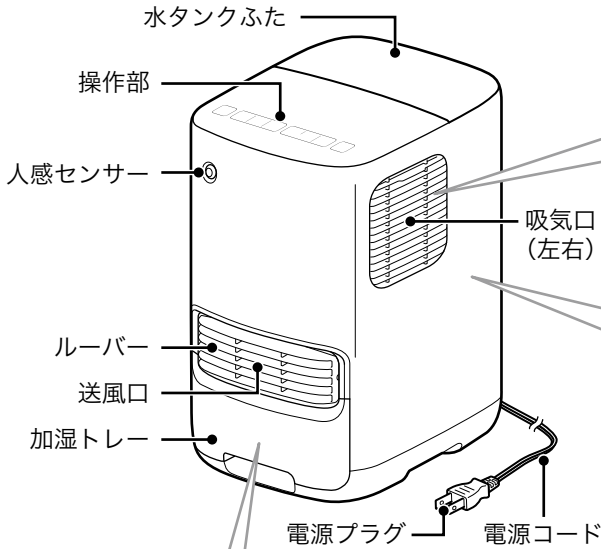


加湿の水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔に保つよう、定期的にお手入れする

加湿機能を使用していないときは水を捨てる
カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因、水漏れの原因になります。まれに体質により過敏に反応し、健康を害することがあります。この場合、医師に相談してください。

各部のなまえ

本体



加湿フィルター

加湿トレー内部

フロート
水位を検知します。

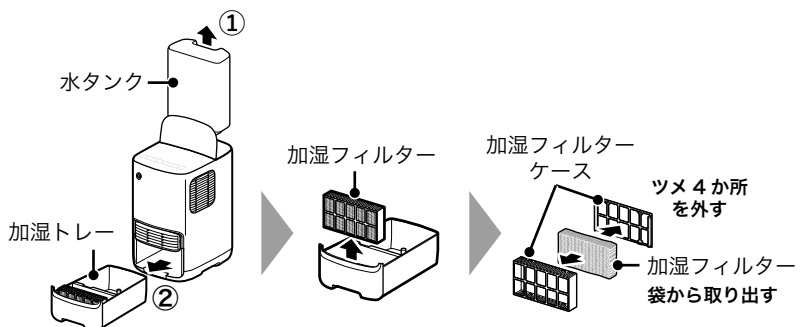
水位線
この線より上まで水が入っていると、加湿トレーから水がこぼれやすくなります。

ご注意
 加湿トレーは水タンクを外さないと引き出せません。

▶ 加湿フィルターについて

お買い上げ時は、加湿フィルターが梱包された状態で、加湿フィルターケースに入っています。

ご使用前に加湿フィルターを袋から取り出して、加湿フィルターケースにセットし直してください。



各部のなまえ

リモコン

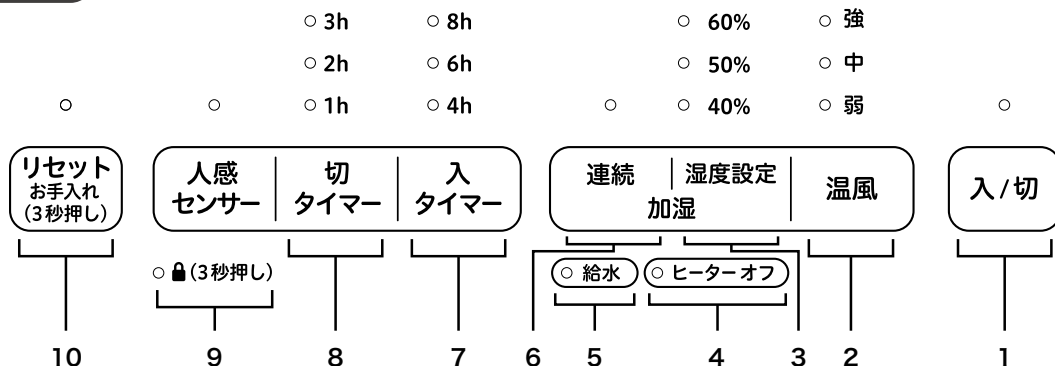
(テスト電池付き)



ご注意

- 意図せず運転するのを防ぐため、リモコンでの運転開始と入タイマー設定はできません。本体で操作してください。

操作部



名称		説明
1	《入/切》ボタン/ランプ	電源の入/切を切り替えます。運転中はランプが点灯し、運転停止中は消灯します。入タイマー設定時や自動電源オフ機能で運転を停止したときはランプが点滅します。
2	《温風》ボタン/ランプ	温風運転のモードを切り替えるときに押します。 10 ページ
3	《湿度設定》ボタン/ランプ	加湿運転時の湿度を設定します。
4	《ヒーターオフ》ランプ	ヒーターオフで加湿運転するとき点灯します。
5	《給水》ランプ	加湿運転中に水がなくなったとき点灯します。
6	《連続》ボタン/ランプ	連続加湿運転を行うときに押します。
7	《入タイマー》ボタン/ランプ	入タイマーを設定するときに押します。 12 ページ
8	《切タイマー》ボタン/ランプ	切タイマーを設定するときに押します。 12 ページ
9	《人感センサー》ボタン/ランプ チャイルドロックランプ	人感センサー運転の入/切を切り替えるときに押します。 11 ページ チャイルドロックの設定/解除をするときに約3秒押しします。 13 ページ
10	《リセット/お手入れ》ボタン/ランプ	水が入っている時間が168時間(1週間)になると点灯して、お手入れが必要なことをお知らせします。

| お使いになる前の準備

知っておいていただきたいこと

▶ 加湿のしくみ

水を含ませた加湿フィルターに温風または送風を当てて、湿った空気を出す気化式で加湿します。そのため蒸気(湯気)は見えません。

▶ 自動電源オフ機能

運転開始後、10時間経過すると自動的に運転を停止します。入タイマー設定時は2時間経過で運転を停止します。

自動電源オフ機能で運転を停止すると、入/切ランプが点滅します。《入/切》ボタンを押すとランプが消灯します。

▶ 転倒・振動検知機能

運転中または入タイマー待機中、強い衝撃やゆれがあったときや、本体が倒れたり傾いたりしたとき、入/切ランプが点滅してブザーが鳴ります。



入/切

- 運転中の場合は自動的に運転が停止します。
- 《入/切》ボタンを押すと、ランプが消灯します。
- 本体の傾きを戻してから、《入/切》ボタンを押すと、再び電源が入ります。

▶ 異常過熱検知機能

本体に衣類、タオルなどが掛かり、異常な温度上昇を検知した場合、温風・加湿ランプが点灯してブザーが鳴り、自動的に運転を停止します。再度使用する際は、コンセントから電源プラグを抜き、1時間程度待ってから差し直してください。

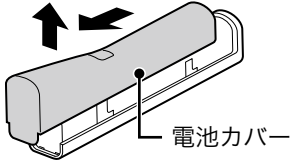
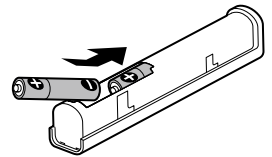
▶ メモリー機能について

本製品は、前回ご使用時の運転モード設定(温風・加湿・人感センサー)が記憶されます。《入/切》ボタンで電源を切って再び電源を入れた際、前回ご使用時の設定で運転を開始します。

- 電源プラグを抜いた場合は、記憶されたメモリーがリセットされます。
- お買い上げ後初めて使用する場合やメモリーがリセットされた後は、電源を入れると温風運転を開始します。

リモコンを準備する

▶ リモコンに電池を入れる

- 1 リモコンを裏返し、電池カバーを開ける 
- 2 付属の単4形乾電池2本を入れる 

単4形乾電池をマイナス(-)側から入れてください。
- 3 電池カバーを閉める

おしらせ

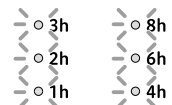
- 電池はテスト電池のため、寿命が短くなっている場合があります。
- 電池切れの場合は、市販の新しい単4形アルカリ乾電池2本と交換してください。

▶ リモコンの登録(ペアリング)

本機のリモコンは、本体とリモコンの送受信を無線方式で行うため、リモコンの登録(ペアリング)が必要です。ご購入時はペアリング済みのため、そのまま使用できますが、リモコンが操作できない場合は、次の手順で本体とリモコンの登録(ペアリング)を行ってください。

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む
- 2 本体の《入タイマー》ボタン、《切タイマー》ボタンを同時に長押し(約3秒)する

本体とリモコンの登録モードになり、本体のタイマーランプがすべて点滅します。



切タイマー | 入タイマー

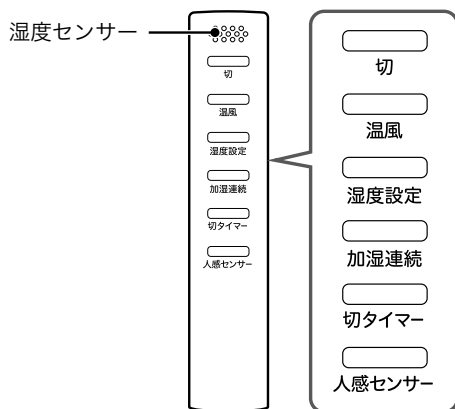
お使いになる前の準備

③ リモコンの《温風》ボタンを長押し(約3秒)する

登録が完了すると「ピー」とブザーが鳴ります。登録できない場合は「ピッピッピッ」とブザーが鳴ります。再度手順②からやり直してください。

▶ リモコンの使いかた

リモコンには湿度を検知する湿度センサーが付いています。湿度を検知したい場所にリモコンを置いてください。



リモコンで本体の操作ボタンと同じ操作ができます。本体とリモコンの送受信を無線方式で行うため、リモコンを本体に向けずに操作できます。リモコンを操作できる範囲は見通し距離約5mです。

ご注意

- 電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはできるだけ離してください。
 - 電子レンジ
 - 無線LAN機器
 - Bluetooth対応機器
 - その他2.4GHz帯の電波を使用する機器(デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)
- 湿度は場所により差があるため、部屋内の他の湿度計と異なる湿度を検知する場合があります。
- リモコンの湿度センサーに本機の風が直接あたらないようにしてください。正しい湿度が検知できない原因になります。

- リモコンの設置場所(冷暖房器具、除湿機、加湿器の近く)や周囲の環境によっては、湿度を正確に検知できないことがあります。

▶ リモコンから湿度が正しく送信できているか確認するには

リモコンの《湿度設定》ボタンを長押し(約3秒)します。本体側で受信できるとブザーが鳴ります。

本体側で受信できないときは

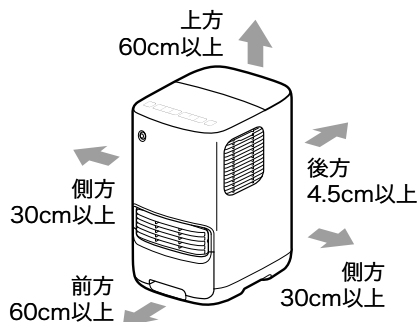
本体の湿度設定ランプが点滅し、一定時間ごとにブザーが鳴ります。次のことを確認してください。

- リモコンの電池が消耗していないか。
- 本体とリモコンの登録(ペアリング)を行ったか。

設置のしかた

▶ 必ずお守りください

- 壁や家具、カーテンなどの周囲の可燃物から下図の距離を離して、設置してください。



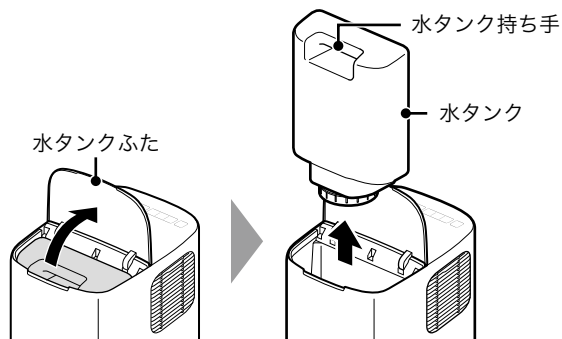
- 約0～35℃の部屋で使用してください。結露や凍結によるフィルター寿命の低下や故障の原因になります。
- 同じ場所で長時間使用する場合は、製品下部の床や周辺の壁などのよごれに注意してください。
- 必ず安定した水平な場所に設置してください。次のような場所で使用しないでください。故障の原因になります。
 - 不安定な場所や、棚・家具などの高いところ
 - 直射日光の当たるところ、暖房器具の近くや上
 - ほこりが多いところ
 - 磁気の多いところ(テレビ・ラジオなど)の近く

| 使いかた

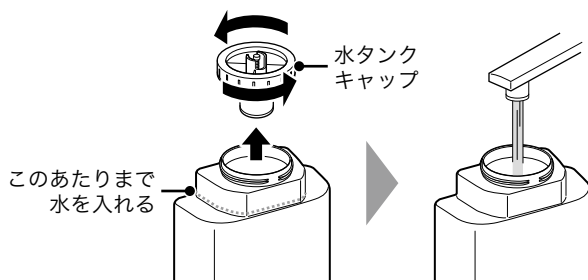
給水する

温風・加湿運転、加湿運転をするときは使用する前に給水してください。

1 水タンクふたを開けて、水タンクを取り出す

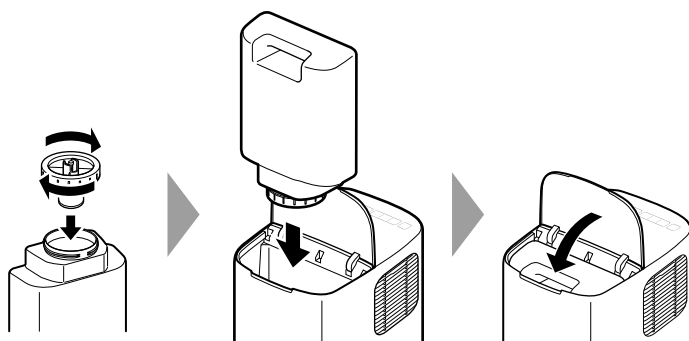


2 水タンクに水道水を入れる



3 水タンクを本体にゆっくり入れる

- 水タンク周りの水は拭き取ってください。



ご注意

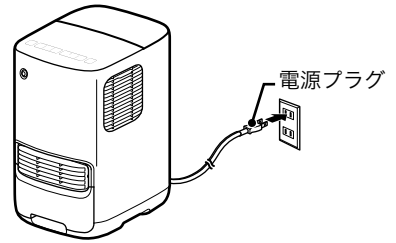
- 水道水以外は使わないでください。
ミネラルウォーター、アルカリイオン水、浄水器の水、井戸水などを使うと雑菌繁殖の原因になります。
- 40°C以上のお湯・化学薬品・芳香剤・よごれた水・次亜塩素酸などを入れないでください。
ひび割れ・水漏れ・異臭の原因になります。
- 本体に直接水を入れないでください。
故障の原因になります。
- 使用後、水タンクを取り出すとき、水タンクキャップから少量の水が落ちます。
水タンクの出し入れを繰り返し行くと、加湿トレーの水が増え、加湿トレーから水がこぼれやすくなります。水位線より多く水が入ったときは水を捨ててください。

| 使いかた

運転を始める

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むと「ピピッ」という音がします。

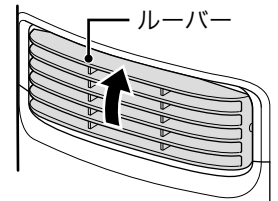


2 風向きを調節する

- ルーバーを動かし、風の吹出方向をお好みの位置に調節します。

ご注意

- 温風運転中、温風運転停止直後はルーバーが高温になっていますので、ルーバーを触らないでください。



3 《入/切》ボタンを押して、運転を開始する

- お買い上げ後初めて使用する場合は、本体の入/切ランプ、温風ランプが点灯して、温風運転が始まります。

ご注意

- 本体の《入/切》ボタンを押してください。
リモコンでは運転を開始することはできません。

○ 強

○ 中

○ 弱



温風

入/切

温風運転する

加湿しないときは水タンクに水を入れる必要はありません。

1 《温風》ボタンを押して、風量を選ぶ

ボタンを押すごとに弱→中→強の順に切り替わります。

温風・加湿運転する

温風・加湿運転をするときは使用する前に給水してください。

1 《温風》ボタンを押して、風量を選ぶ

ボタンを押すごとに弱→中→強の順に切り替わります。

○ 60%

○ 50%

○ 40%

2 《湿度設定》ボタンを押して、湿度を選ぶ または《連続》ボタンを押す

《湿度設定》ボタンを押すごとに40%→50%→60%の順に切り替わります。

連続 | 湿度設定
加湿

▶ 湿度設定と連続について

- 湿度設定：選んだ湿度になるように加湿します。設定した湿度になると温風運転に切り替わり、設定した湿度を下回ると、温風・加湿運転に切り替わります。
- 連続：部屋の湿度に関係なく加湿します。

加湿運転する

加湿運転をするときは使用する前に給水してください。

1 《湿度設定》ボタンを押して、湿度を選ぶ
または《連続》ボタンを押す

2 ヒーターオフランプが点灯するまで《温風》ボタンを押す

給水ランプが点灯したときは

水タンクの水がなくなると、給水ランプが点灯し、ブザーでお知らせします。温風・加湿運転時は温風運転に切り替わります。加湿運転時は運転を停止します。本体に水を入れた水タンクをセットすると加湿を再開します。



人感センサー運転する

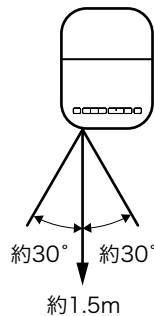
《人感センサー》ボタンを押すと本体前面の人感センサーにより人を感じて、自動で運転・停止をします。(温風運転、温風・加湿運転のみ)

- 人感センサーが人を感じると運転を開始します。人感センサーが人の動きを3分以上感知しない場合、運転を停止し待機状態となり、人感センサーランプが点滅に変わります。

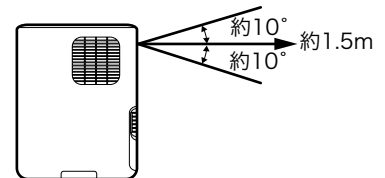
おしらせ

- 人感センサーの検知角度は左右各30°、上下各10°、検知距離は約1.5mです。

上から見た図



横から見た図



| 使いかた

ご注意

- **人感センサーは熱に反応するため、次のような場所では正常に動作しないことがあります。**
 - カーテンや植物などの風で動くものの近く
 - 人感センサーの検知範囲に直射日光が当たる場所
 - 他の暖房器具などから送風される場所
 - 室温が30℃を超える場所
- **他の暖房器具などの熱や、ペットなど人以外の動くものにも反応して動作することがあります。**
- **1.5 m以上離れたところでも人感センサーが検知することがあります。**
- **検知範囲に人がいても、人の動きがない場合は運転が停止することがあります。**

タイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に運転を開始する入タイマー、自動的に運転を停止する切タイマーを設定できます。

▶ 切タイマーを設定する

予約した時間に自動的に運転が停止するように切タイマーを設定します。

- 《切タイマー》ボタンを押すごとに、切タイマーランプが「1h (1時間)」→「2h (2時間)」→「3h (3時間)」→「すべて消灯(切タイマーオフ)」→「1h (1時間)」…の順に切タイマー設定が切り替わります。
- 時間の経過に合わせて、切タイマーランプの表示が切り替わります。
- 《入/切》ボタンを押して電源を切ると、切タイマーの設定は解除されます。

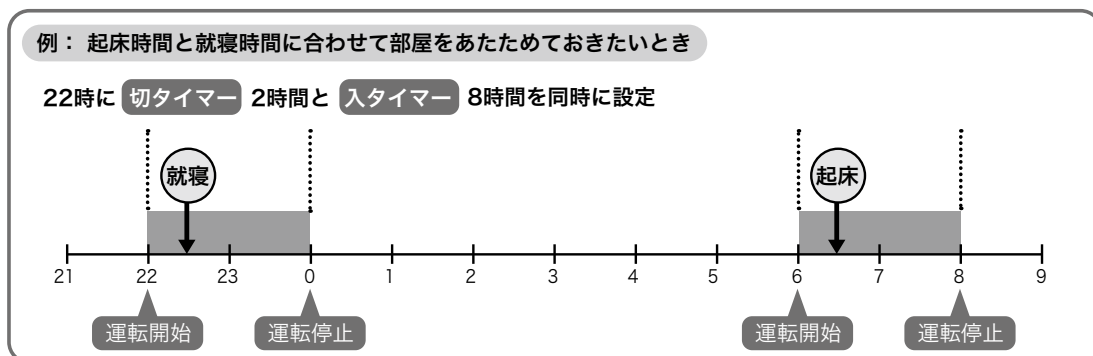
▶ 入タイマーを設定する

予約した時間に自動的に運転を開始するように入タイマーを設定します。入タイマーを設定すると、運転を開始してから2時間経過で運転を停止します。

- 《入タイマー》ボタンを押すごとに、入タイマーランプが「4h (4時間)」→「6h (6時間)」→「8h (8時間)」→「すべて消灯(入タイマーオフ)」→「4h (4時間)」…の順に入タイマー設定が切り替わります。
- 設定した時間になると、切タイマーランプ「2h (2時間)」が点灯し、運転を開始します。運転開始後、2時間で運転を停止します。
- 《入/切》ボタンを押して電源を切ると、入タイマーの設定は解除されます。

▶ 切タイマー／入タイマーを同時に設定する

切タイマーで運転を停止させ、再び入タイマーで運転することができます。
切タイマー設定後、入タイマーを設定します。



ご注意

- タイマー設定時は人感センサー運転は設定できません。

チャイルドロックを設定する

子どもが誤ってボタンを押してしまっても動作させないように、操作部のボタンをロックします。

▶ チャイルドロックを設定／解除する

本体の《人感センサー》ボタンを長押し(約3秒)します。

解除するときは、再度《人感センサー》ボタンを長押し(約3秒)します。

- チャイルドロックが設定されていても、《入／切》ボタンを押して運転を停止する操作は可能です。
- 電源プラグを抜くと、チャイルドロックは解除されます。

運転を終了する

1 《入／切》ボタンを押して、運転を停止する

入／切ランプが消灯します。

おしらせ

- 温風運転時は、冷却のためにしばらく送風が続きます。

▶ 外出するときや長期間使用しないときは

コンセントから電源プラグを抜いてください。

お手入れ／保管のしかた

ご注意

- **お手入れや保管は、電源を切って本体が冷めた後(約30分後)に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- **本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。**
故障の原因になります。
- **ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。**
傷・変質・変色の原因になります。

お手入れする

お手入れランプが点灯したとき

水が入っている時間が約168時間(1週間)になると、お手入れランプが点灯し、お手入れが必要なことをお知らせします。

次の手順にしたがってお手入れしてください。加湿トレー・水タンク・加湿フィルターの汚れがひどくなると、本体内部が高温になったり、加湿量が低下したり、故障の原因になります。お手入れランプの点灯にかかわらずお手入れしてください。

▶ お手入れ後は

リセットボタンを長押し(約3秒)する。
お手入れランプが消灯します。

本体

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合は、ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞ってふいてください。

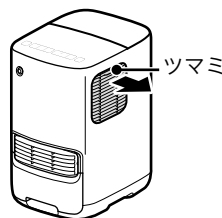
水タンク(給水のたび)

給水のたびに水タンクに少量の水を入れて振り洗いしてください。洗剤を使うときは、薄めた台所用中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようしっかりすすいでください。

フィルター

- 1 **本体左右のフィルターを取り外す**

フィルターはマグネットで固定されています。つまみを手前に引いて取り外します。



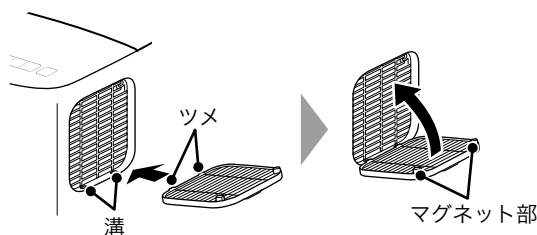
- 2 **フィルターのほこりを掃除機などで取り除く**

汚れがひどいときは水洗いしてから柔らかい布で水気を拭き取り、充分乾燥させてから取り付けてください。



- 3 **フィルターのツメを本体に差し込んでから、本体に取り付ける**

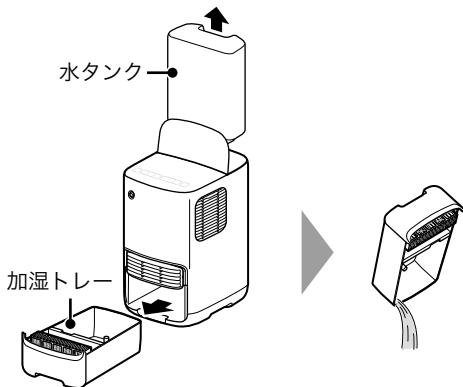
フィルターはマグネットで本体に固定されます。



加湿トレー・加湿フィルター

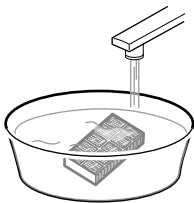
1 電源プラグを抜き、水タンクを取り出す。

2 加湿トレーを取り出し、水を捨てる
加湿トレーの出し入れは、本体を押さえてゆっくり行ってください。勢いよく行くと、水がこぼれる原因になります。



3 加湿フィルターを加湿フィルターケースのまま水でつけ置き洗う

加湿フィルターの型くずれを防ぐため、加湿フィルターケースにセットしたまま、つけ置きします。



ご注意

強い力を加えて洗わないでください。破損、型くずれの原因になります。

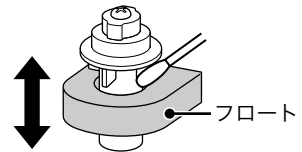
▶ 汚れがひどいときは

水またはぬるま湯(約40℃以下)にクエン酸(1Lあたり6g)を溶かした容器で約2時間つけ置き洗いし、十分にすすいでから取り付けてください。

4 加湿トレーを水洗いする

細部の汚れは歯ブラシや綿棒などで取り除いてください。

水位を検知するフロートが汚れなどで加湿トレーにくっついている場合は、フロートが上下に動くように、加湿トレーとの間を綿棒などで軽くこすって汚れを取り除いてください。



5 加湿フィルターを加湿トレーに取り付ける

加湿フィルターは前後どちらの向きでも取り付けられます。

▶ 加湿フィルターの交換のめやす

約6か月に1回

回数はめやすであり、使用状況やお手入れのしかたにより異なります。次のような状態になった場合は交換してください。

- ・変色や汚れがひどい
- ・傷みや型くずれがひどい

▶ 加湿フィルターの仕様について

加湿量向上のため、加湿フィルターは端の処理やふちどりを行っていません。

保管する

お手入れし、水分を拭き取り十分に乾燥させた後、元の包装に入れるかポリ袋をかぶせて、ほこりや湿気の少ないところで保管してください。

ご注意

- ・保管するときは、必ずリモコンから電池を取り出してください。電池が液漏れをすることがあります。

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 運転しない。

- 電源プラグが抜けていませんか。
電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
 - 本体が傾いていたり、不安定な場所に置かれていたりしませんか。
入/切ランプが点滅していませんか。
転倒・振動検知機能が働き、運転が停止している場合があります。入/切ランプが点滅している場合は《入/切》ボタンを押し、本体を平らな場所に置いてから再度《入/切》ボタンを押してください。
- ➔「転倒・振動検知機能」 7ページ

Q2 自動で運転が停止する。

入/切ランプが点滅していませんか。
運転開始後、10時間経過すると、自動的に運転を停止します。入タイマー設定時は、運転開始後、切タイマーランプ「2h (2時間)」が点灯し、2時間経過で運転を停止します。

➔「自動電源オフ機能」 7ページ

Q3 リモコンで操作できない。

- 電池は消耗していませんか。
新しい電池に交換してください。
 - 電池の入れかた(＋と－の向き)が間違っていないですか。
電池を正しい向きで入れ直してください。
 - 電子レンジやコードレス電話機などが近くにありませんか。
電波の干渉により、操作が効きにくくなる場合があります。電波を使う機器からは本体とリモコンをできるだけ離してください。
 - 本体とリモコンの登録(ペアリング)を行ってください。
- ➔「リモコンの登録(ペアリング)」 7ページ

Q4 運転中ににおいがする。

- 使いはじめたばかりではありませんか。
はじめてお使いになるときに、新製品特有のにおいがすることがありますが、故障ではありません。お使いになるうちに、気にならなくなります。
 - 加湿トレー・加湿フィルターをお手入れしてください。
- ➔「お手入れする」 14ページ

Q5 運転中や操作中に「カチッ」と音がする。

本体内部でヒーターが入切するときにカチッと音がなります。異常ではありません。

Q6 使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。

- たこ足配線を使っていませんか。
たこ足配線の使用を中止してください。たこ足配線を使って他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して、火災・感電・故障の原因になります。
- 電源プラグが抜けかけていませんか。
電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 差し込み口が2口あるコンセントで、両方の差し込み口をお使いではありませんか。
コンセントの差し込み口が2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。
- 電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げていませんか。
電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げないでください。電気の流れが悪くなり、ショート・発火の原因になります。
- 電源コードをコードホルダーに巻いたり、束ねた状態で使っていませんか。
使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。
- 電源プラグやコンセントに、ごみやほこりが付着していませんか。
定期的に、付着しているごみやほこりを拭き取ってください。
- コンセントがガタついたり、差し込みがゆるくありませんか。
お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
- 電源プラグ・電源コードが傷ついたり、変形・破損していませんか。
サポートセンターに、修理・交換を依頼してください。

Q7 人がいないのに人感センサーが働いて運転する。

人感センサーは熱に反応するため、他の暖房器具などの熱や、ペットなど人以外の動くものにも反応して動作することがあります。動くものや熱源になるものを人感センサーの検知範囲外に移動させてください。

Q8 ランプが点滅して、ブザーが鳴り続ける。

本体に衣類、タオルなどが掛かり、異常な温度上昇を検知した場合、温風・加湿ランプが点灯してブザーが鳴ります。コンセントから電源プラグを抜き、1時間程度待ってから差し直してください。1時間程度時間をおいてもランプが点灯する場合は故障の可能性があります。サポートセンターにお問い合わせください。

Q9 人感センサーランプと入タイマーランプまたは切タイマーランプが点灯している。

コンセントから電源プラグを抜き、1時間程度待ってから差し直してください。1時間程度時間をおいても、ランプが点灯する場合は故障の可能性があります。サポートセンターにお問い合わせください。

Q10 水タンクに水が入っているのに給水ランプが点灯する。

- 製品が傾いていませんか。フロートが誤作動する原因になります。
- フロートが引っかかったり、固着していませんか。
➔「お手入れする」[14ページ](#)

Q11 湿度設定ランプが点滅する。

リモコンの湿度センサーが湿度を検知できない場合、湿度設定ランプが点滅し、一定時間ごとにブザーが鳴ります。リモコンの電池が消耗していないか確認してください。

本機使用時のお願い

本機の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ①本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ②万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、裏表紙に記載のシロカサポートセンターにお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- ③その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のシロカサポートセンターにお問い合わせください。

仕様

品名(型番)	加湿機能付きセラミックファンヒーター (SH-3D151)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	1000 W (温風強)、950 W (加湿+温風強)、14 W (加湿のみ)
外形寸法(約)	幅 21 cm × 奥行 27 cm × 高さ 35 cm
質量(約)	4.1 kg
電源コードの長さ(約)	1.8 m
水タンク容量(約)	3 L
加湿量(約)*	1時間当たり最大500mL
適用床面積(目安)*	木造和室：約8.5畳(14㎡) プレハブ洋室：約14畳(23㎡)
付属品	リモコン(テスト電池付き)
安全装置	転倒自動停止装置、過熱防止装置
原産国	中国

*加湿+温風強運転時、室温20℃/湿度30%の場合

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

<https://siroca.jp/>

「※」がついている部品は定期的に確認し、傷みがひどい場合は新しいものと交換してください(有料)。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
リモコン	SH-3D100-RC	水タンク	SH-3D100-WT
フィルター (左右セット)	SH-3D100-AFS	加湿フィルターケース (加湿フィルター付き)	SH-3D100-HFC
銀イオンカートリッジ	SH-3D100-AG	加湿トレー	SH-3D100-WTR
加湿フィルター※	SH-3D100-HF		

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。

保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後6年です。

その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を! —

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源を入れても運転しない
 - 電源コードを動かすと、温風が出たり出なかったりする
 - 電源プラグや電源コードが手でさわれないほど熱い
- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook

www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram

www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：加湿機能付きセラミックファンヒーター

お買い上げ日： 年 月 日

型番：SH-3D151

製造番号：

保証期間：お買い上げ日より本体1年間

販売店：店名・住所・電話

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご依頼ください。
ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
 - 腐食による故障、及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090024

お客様サポート

二次元コードからもアクセスできます

故障・修理のお問い合わせ、修理代金の目安、
使いかた・お手入れなどのよくあるご質問はこちら

シロカ サポート

検索



部品・消耗品の
ご購入はこちら



シロカサポートセンター ナビダイヤル 0570-001-469 受付時間：10:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日を除く）
非通知設定の方は「186」をつけて発信番号通知のご協力を願います。サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。